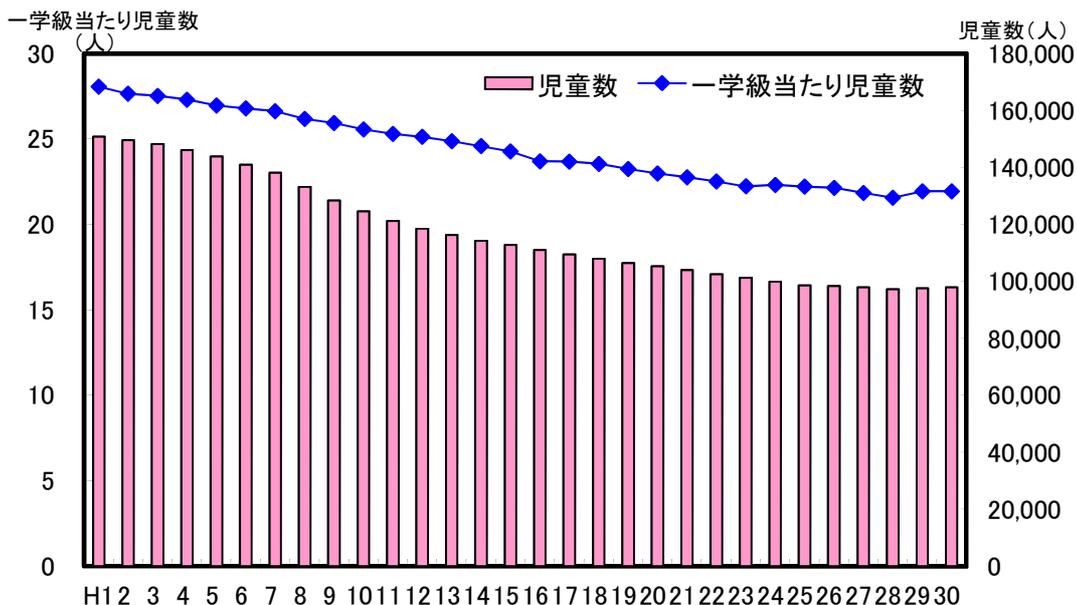


熊本県の児童数と一学級当たり児童数の推移



解 説

【概要】

平成30年度の県内小学校数は349校（本校344校、分校5校）で、前年から12校減少した。学級数は4,465学級（単式3,430学級、複式81学級、特別支援学級954学級）で、前年から11学級増加となった。

平成元年度からの児童数の推移をみると、毎年減少していたが、平成29年度から増加に転じ、平成30年度は前年度比271人増の97,951人（男子50,114人、女子47,837人）で、平成元年度の3分の2程度となっている。

また、教員数は7,023人（男2,835人、女4,188人）で、前年から1人増加した。

○小学校数

各年5月1日現在の国公立及び私立のすべての小学校数で、分校も1校として計上している。なお、中学校と併設されている場合は、それぞれ1校として計上している。

○教員数

本務の教員数であり、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び講師の合計である。本務と兼務の区別は、原則として辞令面によっている。本務者には休職者、産休者、育児休職者、産休代替者及び育児休業代替者も含まれている。

○学級数

国公立の小学校の単式学級、複式学級、特別支援学級の合計。

○一校当たり児童数

児童数÷小学校数

○教員一人当たり児童数

児童数÷教員数（本務者）

○一学級当たり児童数

児童数÷学級数

| 資料出所 | 調査期日 | 調査周期 |
|----------------|-----------|------|
| 「学校基本調査」 文部科学省 | 平成30年5月1日 | 毎年 |